

## 東桜学館高校弓道部員の皆さんへ

### ◎弓道は目的ではなく手段である。

君たちは、弓道という競技（武道）に興味があって入部したのであろうが、弓道が上手になること自体は目的ではない。弓道は人間として成長するための手段である。礼儀やあいさつ、清掃、時間や約束を守ること、先生やコーチ・保護者、先輩・後輩との関係性の深まり、道場や道具を大切にすること、自分に負けない心（克己心）、などを身につけるのでなくては、弓道をやる意味がない。むしろ前述のことが身についてきた時、弓道が上手くなっている自分がいるはずである。

弓道は敵と戦う武道ではなく、自分自身と戦う武道である。だから一番怖い。失敗をした原因、勝てなかった原因、上手くならない原因は、全て自分にあるからだ。言い訳はできない。弓道を通して、ぜひ人間性を磨いていこう。

### ◎東桜学館高校の部活動

東桜学館高校は、非常に忙しい学校である。授業は週に32時間で、普通の学校より2時間多い。SSHに指定されており、講演会や課題研究など、通常の学習以外の活動もたくさんある。もちろん大学進学を目指した学習・課題にも取り組まなければならない。その中で一人一人が上手くなるために、あるいはチームとして強くなるためには、

#### ①時間を有効に使って、練習時間を確保する

授業が終わってからの移動、練習の準備などの無駄をなくすことで、少しでも活動時間を確保する。そのために、自転車を準備できる人はなるべく準備する。月・水・金は16:00、火・木は17:00を目途に道場に到着する。

#### ②練習の質を高める

他の学校より練習時間が短い以上、質を高めるより方法がない。一本一本を大切に、集中して、考えた練習をすることが大切である。また、技術的にも高いところを目指すことで、練習の質は確実に上がる。

#### ③練習時間を作り出す

それでも足りない練習時間は作り出すしかない。自主練習はもちろん強制ではないが、全国を目指す人間ならば必須である。勉強もせずにそれをするのではない。日常の無駄な時間を削って学習時間を確保した上で作り出した貴重な時間を自主練習に充てるのであれば、その練習が効果的でないはずはない。

### ◎人間関係

どんなに意志の強い人でも、練習をしていて行き詰まったり、やらなければならないことの多さに途方に暮れたりすることもある。そんな時に支えてくれるのは、同学年の仲間であり、先輩であり、後輩である。「単なる同じ部活の人」ではない深い人間関係が君たちを支え、そして強くしてくれる。せっかく志を持って始めた弓道である。途中で部活をやめる人が出ないことは、何より大切なことだと思う。